

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67 (八幡建設 2F)
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長：西川 昇
副 会 長：村土時男
幹 事：岩尾 誠
広報委員長：森下 光
会報担当者：國田大雄・前田伊三夫

2017 年度国際ロータリー会長：イアン・ライズリー (Sandringham ロータリークラブ・オーストラリア)
2017 年度国際ロータリーテーマ：ROTARY: MAKING A DIFFERENCE (ロータリー：変化をもたらす)

＜本日のプログラム＞

第 2516 回 平成 29 年 7 月 27 日 第 4 木曜日
総会
(平成 28 年度事業報告・会計報告)

＜次回の予定＞

第 2517 回 平成 29 年 8 月 3 日 第 1 木曜日
会員増強卓話(渡邊 剛委員長)
A E D 講習会

＜前回の記録＞

第 2515 回 平成 29 年 7 月 20 日 木曜日
郡上長良川 RC・郡上八幡 RC
合同ガバナー公式訪問

司 会 進 行 西村 肇 SAA (郡上八幡 RC)

開 会 点 鐘 原 義明会長 (郡上長良川 RC)

国 歌 斉 唱 「君が代」

ソ ン グ 「奉仕の理想」

特別出席者紹介 原 義明会長 (郡上長良川 RC)
国際ロータリー第 2630 地区

ガバナー 田山雅敏様 (上野東 RC)

ガバナー補佐 伊佐地金嗣様 (関中央 RC)

地区幹事 神戸照男様 (上野東 RC)

地区幹事・地区大会実行委員長
松本正博様 (上野東 RC)

会 長 挨拶

・原 義明会長 (郡上長良川 RC)



本日は、ガバナー田山様はじめ地区幹事の皆様、遠いところをお越し頂き誠にありがとうございました。また、郡上八幡クラブさんには、ホストとして、この会場をご準備頂き、お礼申し上げます。先程、役員懇談会があり、ガバナーよりいろいろご質問を受けましたので、クラブに持ち帰り、検討させて頂きたいと思っております。私共郡上長良川ロータリークラブは、今年度、創立 40 周年の記念事業を行ないま

す。9 月 17 日にレスリングの吉田沙保里さんと栄監督をお迎えし、トークショーを開催します。併せて、写真家松永知恵美さんによる「いのちをありがとう」というテーマの写真展を行ないます。写真展に関して、郡上市の 8 つの中学校の先生より、事前に各中学校で展示をしてほしいという要望がありましたので、7 月中旬に 2 グループに分け、1 週間ずつ順次展示致します。すでに、展示をし終わった中学校より、生徒さんの感想文を頂いていますので、9 月の当日には一緒に展示させていただきます。我クラブが創立 40 周年を迎えられますのは、地区の皆様方、また親クラブであります郡上八幡クラブさんのおかげと思っております。この場をお借りしお礼申し上げます。

・西川 昇会長 (郡上八幡 RC)



本日は、田山ガバナーをお迎えし、郡上長良川ロータリークラブさんと我クラブの合同ガバナー公式訪問の開催にあたり、田山ガバナーにおかれましては、公私共に大変ご多忙の中、又遠方よりのご来訪、誠に有りがたく感謝とお礼申し上げます。又、伊佐地ガバナー補佐、地区幹事 神戸様、地区大会実行委員長 松本様、ご同行頂きました事にもお礼申し上げます。2 クラブ会員の皆様方におかれましては、会場の都合により少し遠くなったにもかかわらず、大勢の方々参加を賜りました事に対しましてもお礼申し上げます。田山ガバナーにおかれましては、「未来を創造しよう・・・10 年後のロータリーは・・・」というスローガンを掲げられておられます。そうした中で、クラブは会員基盤を広げ、多様な会員の取り組みを図り、積極的に会員増強に努めることから始まりますと言われてはいますが、私はまったくその

通りであると感銘致しました。このスローガンをお借りして、地域社会、我々の会社、家庭に置き換えて、真剣に考えて行かなければならない時期がすぐそばまで来ているのではないかと思います。今後、郡上長良川ロータリークラブの皆さんと、一層の親睦を深め、より良い関係を保ちながら、より良いクラブ活動を目指し頑張っていきたいと思っておりますので、今一層のご指導・ご協力を賜ります様よろしくお願い申し上げます。最後となりましたが、本日ご出席の皆様方のご健康と、益々のご活躍を祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

地区大会PR 地区大会実行委員長 松本正博様



皆さん、こんにちは。少しお時間を頂き、地区大会のご案内をさせていただきます。7月8日に地区大会企画会議があり、そこで無事に企画書が承認されました。本日、皆様のお手元には、パンフレットが配布されていると思います。ご存知の通り、私共の伊賀市は、2630地区の西の果てで、隣りは奈良県・京都府・滋賀県に接しております。公共交通という面では非常に不便なところでございます。今年の地区大会は、伊賀市において、10月14日(土)・15日(日)に開催致します。1日目は、RI研修リーダー第2ゾーン 高野孫左エ門氏による基調講演、2日目は俳人 黛まどか氏による記念講演を予定しています。高野氏は甲府ロータリーの会員さんで、戦国時代の上杉謙信が武田信玄に塩を送ったという逸話のルーツを持つ方です。黛氏は、松尾芭蕉が伊賀に馴染みの深い方ということでお願い致しました。大昼食会では、伊賀の食材を使った料理と地酒をご用意させていただきます。また、伊賀は忍者のまちということで、まさに今、和田竜原作の「忍びの国」という映画が上映されていますが、あの通りだったと聞いています。こちらでは美濃焼が有名ですが、伊賀にも伊賀焼があります。これを大会記念品とさせていただきます。実行委員会の委員一同、頑張っているところですので、皆様方には何卒50%以上の登録をよろしくお願い致します。

出席報告 大前正行クラブ奉仕委員

会員数	出席	補正	合計	出席率
39名	32名	6名	38名	97.4%

ニコボX 廣瀬泰輔担当責任者

- ・本日は宜しくお願い致します。 **田山雅敏様**
- ・本日は宜しくお願い致します。 **伊佐地金嗣様**
- ・本日はお世話になります。 **神戸照男様**
- ・本日はお世話になります。 **松本正博様**
- ・田山雅敏ガバナー、伊佐地ガバナー補佐、地区幹事神戸様、地区大会実行委員長 松本様を歓迎申し上げます。本日はよろしくお願い申し上げます。

- げます。 **西川 昇**
- ・ガバナー田山様、ガバナー補佐伊佐地様、地区幹事神戸様、松本様、ようこそ郡上市へ。歓迎致します。
- 遠藤主税・羽田野優男・林 健吉・平岩憲政
廣瀬泰輔・岩出明喜・岩尾 誠・河合 修
川井昭司・國田大雄・前田伊三夫・松良 努
三原慎也・森下 光・村土時男・西村 肇
野田三津雄・小笠原正道・奥村芳弘・大前正行
大畑於左武・酒井智義・澤崎 茂・竹内巧治
田代東次郎・遠山一男・和田詠伸・和田英人
渡邊 剛・山川直保・山下友幸

幹事報告 岩尾 誠幹事

- ・ガバナー事務所より、「第14回韓日親善会議」の案内
- ・地区大会事務局より、地区大会登録関係および大会運営についてのご案内
- ・美濃加茂・可児RCより、例会変更の案内
- ・地区事務所・ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所より、夏期休暇の案内
- <拝受>
- ・地区大会事務局より、大会用パンフレット
- ・AJU岐阜ダルクより、ニュースレター夏号

委員会報告

- ・酒井智義青少年奉仕委員長
野外行事について

ガバナー卓話 地区ガバナー 田山雅敏様



皆様、改めましてこんにちは。先ほど、郡上八幡の西川会長様、郡上長良川の原会長様はじめ、幹事・副会長・会長エレクト・副幹事の皆様とお話をさせていただきました。ざっくばらんに、クラブの話をお聞きしました。今日の卓話の中で私なりに思いをはせてお話をさせていただきます。

その前にまず、自己紹介をさせていただきます。私は1991年にロータリークラブへ入会し26年になります。クラブ会長は随分前に務め、それほど地区で活動していたわけではありませんが、石垣ガバナーの時に、中勢・伊賀グループのガバナー補佐をしておりました。職業は医薬品の製造をしており、皆さんお飲みになっている薬、どちらかというところジェネリック系の薬が多いのですが、座薬を主に作っています。座薬は経口剤と違って胃に

負担がかからないので、年配の方に需要があります。また、ドラッグストアなどで販売している一般薬を製造しており、競争が激しくなっています。昔は楽だったと聞いていますが、私の代からはそのようなことはなく、ルールを逸脱する人が業界にいまして、さらにルールが厳しくなるというのが現状です。価格転嫁出来ないというのが続いている業界です。

今朝は、7時半に出まして9時半に到着、2時間で来ました。まだ時間がありましたので、郡上八幡城へ行って来ました。今、このお城は天空の城として有名ですね。私はこの郡上八幡へは何度も訪れています。また、クラブで納涼例会として来た事もあります。郡上八幡城は、たしか遠藤盛数が築きました。明治維新で廃城になられたそうですが、そのあと、皆さんのお力で再建されたそうです。私がいます伊賀市にも、伊賀上野城があります。白鳳城といい、石垣の高さが日本で、大阪城に睨みをきかした徳川方のお城です。お城としては、郡上八幡城に勝るとも劣らずのお城ですので、今度地区大会にお越しの際は是非ご覧下さい。伊賀上野は、忍者のまちということで、大学に忍者学という学問まで出来まして、三重大学が大学院を作るそうです。国際忍者センターまで出来ました。忍者列車も走っています。当分、忍者のブームが続くと思います。そんな中で地区大会を開催します。2日目には、伊賀忍者特殊軍団の阿修羅忍者ショーもあります。是非、大勢の方にお越し頂きたいと思います。

先ほど、出席委員の方に、各クラブの出席報告をして頂きましたが、実は、前々回の報告というのを加えて頂く事によって、出席報告として完璧になります。前々回というのは、つまり2週間前ということです。この2週間の前後の間にメーキャップ等をすれば、100%になるということです。2週間前の例会を欠席した方が、2週間の間にメーキャップすれば、そこで新しく修正出席率という言葉が出てくるわけです。どのクラブの会報にも、出席率が記載されていると思いますが、私のクラブの会報は、出席率はほとんど100%となっています。会員が皆、欠席したらメーキャップするのです。一時、6年間出席率100%が続きました。私はだんだんそれが苦痛になって、意図的にメーキャップもせず欠席しました。すると、私と同じことを考えている人がもう一人おりました。私達は、そうしないと、もう新入会員が入ってこないと思ったのです。その時私は先輩に、我クラブの伝統を壊したと怒られました。私は、ロータリーは出席はもちろん大事だと思うが、そこまで厳しいのなら苦痛だから辞めるという気持ちでした。その当時、我クラブは40名くらいの会員で、しばらく1・2人の欠席者がいましたが、その内にまた出席率が100%になって来ました。しかし、これは前

の100%と違いました。何故かという、前後2週間が出来たこと、Eクラブ的なメーキャップが出来ようになったこと、そして、いろいろ大目にみえてくれるようになったことです。例えば、グループのゴルフコンペに参加すれば、主催クラブの会長が例会として認めてくれればメーキャップ扱いになったことなどです。それでも、どうしても100%にならないことがあります。そのような時、以前は命令的で苦痛だったのですが、現在はそれぞれの会員の自主性の中での100%ということで、時々100%にならないこともあるが、それはそれでかまわないというように変わりました。とてもクラブが自由で楽しくなって、自分の中での負担が楽になったような気がしました。

さて、今年度RI会長イアン・ライズリー氏のテーマは、「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE ロータリー: 変化をもたらす」です。その背景にあるのは、それぞれのクラブを通して、皆さんの人生を変えて下さいということです。そしてもし余力があれば、周りの人に対しても、良い意味での影響を行使して、その人にさらに良くなるように仕向けて下さい。或いは、地域での奉仕活動をさらに充実させ、良い地域へと変化させて下さい。クラブそのものを、若い人や女性会員にも門を広げることで、良いクラブへと変化をもたらして下さいという意味での言葉であります。規定審議会でロータリーのルールがいろいろ変わったということは、皆さんご承知の通りです。職業は関係ない、女性はもちろんOK、ローターアクターはすぐにロータリーに入会できる、例会は月に2回でよいなど、今までのロータリーとは全然違う、そんないい加減なことで良いのかと皆さん思われたと思います。私も最初は、何だこれかと思いましたが、よく話を聞いてみると、このように世界的に今までやって来たことですが、各クラブの自主性を高める方策としていろいろなルールを決め、それをある地域で実験してみたら、その方がクラブが活性化したという事実があるということです。要するに、クラブに自由度を与えましょうということで、毎月4回5回ある例会を、3回4回にしても良いだろう、或いは休みの日に社会奉仕活動があったなら、それを例会としても良いだろうということで、このようなことは、各クラブで自主的に決めて下さいということです。しかし、会員数の多い大きいクラブ、三重県では四日市RCや津RCなどでは、今までと同じ様にやってみようと言ってみえます。私は、それはそれで良いと思いますが、ただ10年後はどうしますか、今のままでは新会員が入りにくいと思います。毎週例会があり出席しなければならない、欠席の時は補正しなければならない、入会すると「君」付けで呼び合い、皆対等な仲間であると言われながら、新会員はいろいろさせられるなど、矛盾を感じる窮屈なクラブと思われるかもしれません。また、会員数20・30人の

小さいクラブで、もう新会員はいらない、今の会員で楽しくやればよいというクラブがありますが、今は良いでしょうが10年後はどうしますかという問題提起をしています。今、ロータリーは若返りの時期を迎え、老壮青のバランスがとれるクラブが一番活力のあるクラブだと私は思います。何事もこのバランスが大事です。従来はこのバランスがありました。ところが長寿社会になり、シニアの方がお元気で息子さんの出番がないという状況もあります。そのようなことを含め、我々は高齢化社会をポジティブに捉えて、それぞれの世代の価値観が交流できる社会を作ること素晴らしいことだと思いますが、ロータリー的には、会員増強をしなければエネルギーが湧いてこない、次のことが出てこないと思います。せっかく入った若い方が、このような環境下におかれると、おもしろくなくなって、例会が苦痛になって出席率が悪くなると思います。そのようなことで、今回の規定審議会で決まったことを全部ノーというのではなく、前向きに捉えてほしいと思います。クラブの月4回の例会の3回は例会場で行い、1回は夜にするとか、会場を変更して行なうとかされることも良いでしょう。また、残念ながら、女性会員を入れないというクラブがまだいくつかあります。日本のロータリーの女性会員の比率はたった4%です。世界では20%となっています。私がガバナーエレクトの時、アメリカのサンディエゴに研修に行きましたが、その内2割がやはり女性のガバナーエレクトでした。私が男性に名刺を出して、「よろしく」と言ったら「私は付き添いです。妻がガバナーエレクトです。」と言われ、そんな方が何人もみえました。

今、ロータリーは、ブラジル・インド・中南米などの新興国が勢いがあります。元気がないのは、アメリカ・日本・オーストラリア・ドイツ・ヨーロッパ全体で、以前の先進国の時代が終わりつつあります。働き盛りで忙しい新興国のロータリアンが、例会の回数を減らしてほしいと希望されたのかもしれませんが、しかし、我々は、日本的なロータリーとして長い間やってきた伝統、良い部分は、是非とも大切にしていき、同時に時代は動いているので、若い人たちを勧誘して入会してもらうには、我々もそれなりの準備をしていかなければなりません。「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE
ロータリー: 変化をもたらす」です。是非、これを心掛けて頂きますようお願い致します。

今日、この例会前に、両クラブの会長・幹事・副会長・会長エレクト・副幹事の皆さんと懇談会をしました。そこで、ロータリーは単年度で人がかわっていきませんが、なるべく事業としては、クラブ・リーダーシップ・プランで続けていき、明るく開放的で、皆に期待されるようなクラブを作りたいと思います。特に大事なものは、地域での奉仕活動です。あのような奉仕活動に自分も

参加してみたい、人間誰でも多少余裕が出来れば、社会貢献したいと思うはずで。ロータリーの門をこちらから開かなくても、叩いてくれる人がいるような環境を用意することが大切だと思います。そんな中で、ロータリーに入会したい、あの人のようなロータリアンになりたいと思って頂けるような環境を、地域での奉仕活動を通して皆さんに作って頂き、そうすることによって、より素晴らしい奉仕活動ができるクラブになれると思います。

私の今年度の地区目標は、クラブ活動計画書に載っていますが、クラブが主役で、ガバナーやガバナー補佐はサポートする立場です。クラブの要望や、解決出来ない事をお手伝いするという事です。地区の委員会は、皆さんのクラブを発展させるために、戦術的な知恵を多少なりとも授けられることが可能だと思います。主役はクラブです。これからは、ロータリーはそのような時代に入っていきますのでよろしくお願い致します。ご静聴、ありがとうございました。

閉会点鐘 西川 昇会長(郡上八幡 RC)



2クラブ合同会長・幹事懇談会出席者

8月の予定

- 8月3日(木) 会員増強卓話(渡邊委員長)
AED講習会
- 10日(木) 物故者法要
法音寺郡上八幡支院様
- 20日(日) 野外出行(17日を変更)
午前10時より、郡上八幡リバーウッドオートキャンプ場
- 21日(月) 社会奉仕例会(31日を変更)
午後6時30分より、慈恵中央病院にて
- 24日(木) 外来卓話
岐阜ダルク施設長 遠山様